

3.11 被災地の方言と向き合って

日時：2016年5月14日(土)10:00~12:00

会場：学習院大学西2号館401教室

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1 学習院大学目白キャンパス

▼位置：日本語学会の会場案内図参照。午後の口頭発表の会場と同じ建物。

<http://www.jppling.gr.jp/wp-content/uploads/2016/03/2016am3.pdf>

▼交通：JR山手線目白駅より徒歩30秒。東京メトロ副都心線雑司が谷駅より徒歩7分。都電荒川線学習院下停留所、鬼子母神前停留所も利用可能。

＜プログラム＞

趣旨説明：大野眞男(岩手大学)

挨拶：鈴木仁也(文化庁)

方言の継承のために—社会教育と国語教育—

今村かほる(弘前学院大学)・坂本幸博(東奥義塾高校)

岩手県郷土教育資料から再構築する被災地方言の分布

竹田晃子(フェリス女学院大学(非))

生活を伝える被災地方言会話集—自然性を確保するための工夫—

坂喜美佳(東北大学)・佐藤亜実(同)

福島県被災地方言の記録—4年間のまとめ—

半沢 康(福島大学)

茨城方言と福島浜通り方言の保存・継承のためにできたこと

杉本妙子(茨城大学)

問い合わせ先：東北大学方言研究センター

電話：022-795-5987 Eメール：kobataka@m.tohoku.ac.jp